



二〇春闘をリセット!こんな時こそ 労働条件引き上げが大事だ!

全国港湾は、政府の「緊急事態宣言」をふまえて、日港協・国交省・厚労省に緊急申入れを行いました。その中で、日港協に対して「このような状況だからこそ、現場を鼓舞」する「産別要求や個別賃上げ要求に誠意ある回答を」と強調しています。

全国港湾は、日港協との事務折衝を行い、「労使が工夫しながら二〇春闘要求について協議を進めていくこと」で一致し、日港協は、その方法も含め具体的な内容を検討することを表明しました。その際、産別交渉は、個別賃上げ交渉を含めた全体の協議であり、産別・個別交渉一体の取り組みを強調しました。

組合員の皆さん!組合員各位の団結とパワーなくして春闘は進みません。ウイルス感染拡大防止に最大限の努力を傾注しつつ、二〇春闘への結集を再び呼びかけます。

港運事業者は、賃上げ要求に誠意をもって回答せよ!

各単組の取り組み状況

- 全港湾** 現時点(4月10日)では全体の集約が5割の分会に有額回答がされ、速報分会回答では加重平均3,300円。闘争分会回答では3,008円であった。
- 日港労連** 3月5日に第2回港荷交渉(業側2名・労側4名)を開催したが、今後の交渉は延期となった。
また、妥結に至った場合は4月1日より実施することを確認している。
- 検数労連** 2月12日に要求書を提出し、第2回交渉を2月25日に開催した。
春闘に係る基礎資料の提出、コロナウイルス対策を求め、第3回交渉を3月11日に開催した。具体的な回答は出ていない。諸要求は何らかの文章回答がされればと思っている。
- 検定労連** 交渉延期の申し入れがされて以降、交渉再開日程は未定としている。
交渉再開後は昨年水準から協議していくことを確認している。
- 全倉運** 4月10日に中間回答集計を行い、24組合:単純平均4,821円・加重平均で4,646円となった。また、4月中に改めて集約を行うとしている。
- 大港労組** 3月13日に第2回団交を開催し、賃金以外の一定の回答があった。
その後3月22日に第3回団交を開催する予定ではあったが、延期となり4月22日に開催予定としている。

生活物資をはじめ社会に供給される貨物の90%は海上運送が担っています。港湾労働者は新型コロナウイルスの危険にさらされながら港で動かざるを得ません。

我々は、新型コロナウイルスには

負けない!

全国の仲間が一つになって、

要求貫徹まで「ガンバロー」